

区分・種別	県指定名勝		
名称	<small>きんしゃこ とみさとけいこく</small> 金砂湖及び富郷溪谷		
所在地	四国中央市金砂町・富郷町		
所有者	国ほか	管理団体	四国中央市
指定年月日	昭和29年11月24日		
解説	<p>           標高1860mの<small>ささがみね</small>笹ヶ峰に源を発する<small>どうざんがわ</small>銅山川は、四国山地を縦断し、深い溪谷をつくり、再び屈曲して、<small>ほうおう</small>法皇山脈に沿って流れ徳島県に至る。         </p> <p>           昭和28（1953）年、金砂町に<small>やなせ</small>柳瀬ダムが建設された。このダムにより水不足に苦しんでいた<small>うま</small>宇摩平地の人々が救われ、農業や製紙工業が発展する。一方、銅山川には、約8kmにわたり美しい人造湖<small>きんしゃこ</small>金砂湖が形成され、<small>すいは</small>翠波高原を中心とする鮮やかな緑が湖面を彩ることとなった。         </p> <p>           また、<small>とみさと</small>富郷地区では、銅山川が造る断崖や深い淵、奇岩怪石が続き、<small>もどり ふち さるとび おうけつ</small>戻り淵や猿飛の甌穴等の景勝地が造られている。そのほか、この地域は、鉱物植物資源に恵まれ県指定天然記念物イブキ、ツバキ、フジ、シイ、カヤ、カツラ等の巨木がある。         </p> <p>           なお、金砂という地名は、かつて砂金を採集したことから付けられたものである。         </p>		

